

令和7年度第1回三浦市地域公共交通会議 議事録

【日時】 令和8年2月16日（月） 9：00～9：30

【場所】 横須賀市三浦消防署4階 大会議室

【出席者】

≪委員≫

会長（学識経験者）

日本大学理工学部 大沢 昌玄 教授【Web出席】

副会長（市民代表）

三浦商工会議所 山下 芳夫 専務理事

（事業関係）

芙蓉交通株式会社 八木 達也 代表取締役【Web出席】

京急三崎タクシー株式会社 阿部 正浩 常務取締役

一般社団法人神奈川県タクシー協会 三上 弘良 専務理事【Web出席】

京浜急行バス株式会社 経営戦略室 植田雄介 企画担当課長【Web出席】

一般社団法人神奈川県バス協会 関上 義明 専務理事【Web出席】

神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 向山 賢一 幹事

（国）

国土交通省 関東運輸局 神奈川運輸支局 森下文章 首席運輸企画専門官【Web出席】

（神奈川県）

神奈川県 県土整備局 都市部 交通政策課 廣野 修一 副課長

（警察）

三崎警察署 河野 正稔 交通課長

（三浦市）

三浦市 政策部 齊藤 正史 政策部長

≪関係者≫

京浜急行電鉄株式会社 グループ統括部 楠田 哲平 グループ統括課長補佐

（事務局）

三浦市 政策部 政策課 鷺阪 慎太郎 政策課長、小野恭平政策グループリーダー

事務局（鷺阪課長）

➤ それでは定刻になりましたので、ただいまより令和7年度第1回三浦市地域公共交通会議を始めさせていただきます。

本日、司会進行を務めます政策課長の鷺阪と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本会議は公開することを原則としております。また傍聴希望者がある場合には手続を経て、これを受け入れることとしておりますのでよろしくお願いいたします。また報道機関の皆様にもお願いがございます。取材及び撮影は、原則記者席でお願いいたします。カメラ撮影は、会議の進行の妨げにならないような範囲でお願いいたします。

それでは議事に先立ちまして、本日の資料の確認をさせていただきます。まず、会議の次第と名簿があり、A4 サイズ縦のものになります。あわせて資料1については、A4 横の両面印刷で7 ページまであるものとなっています。資料が不足している場合にはお申しつけください。

本日の会議は NPO 法人歩の飯島委員が欠席となっていますが、委員の過半数が出席しているため、会議は成立しております。

ご出席いただいている委員は WEB 参加、代理者含め名簿に記載のとおりとなりますので、ご紹介は割愛させていただきます。その他、市の事務局担当者につきましても、名簿に記載のとおりでございます。

それでは、以後は、大沢会長の進行により、お願いしたいと思います。本日は WEB での参加となります。大沢会長よろしく願いいたします。

大沢会長

➤ 会長を仰せつかっている日本大学の沢大です。進行を務めさせていただきますので、皆様よろしく願いします。

では、さっそく議事に入りたいと思います。本日は議事ということで、神奈川版ライドシェア試行運行の現状と今後の運行について、でございます。それでは事務局よりご説明をよろしく願いいたします

事務局（鷺阪課長）

➤ それでは、神奈川版ライドシェア試行運行の現状と今後の運行について、資料1によりご説明いたします。

資料1をご覧ください。

1 ページ目、試行運行の概要についてです。

道路運送法第78条第2号の自家用有償旅客運送制度にて、京急三崎タクシー株式会社を協力事業者として、引続き、毎日、19時から25時までで運行を継続しています。

次に2ページ目、利用実績です。

ドライバー数は6名で、令和7年4月1日から12月31日までの275日間で、稼働台数は487台、1日平均1.8台、利用実績は927回で1日平均3.4回となっています。

墨付きかっこ内の令和6年度のデータと比較し、ドライバーの稼働台数は多少の減となりますが、利用実績は令和6年度とほぼ同じ実績を確保できています。

また、令和6年度から引続き今年度、現時点までにおいても事故やトラブルは発生していません。

主な乗車地は三浦海岸駅周辺、三崎港周辺、目的地は三崎口駅周辺となっています。

次に、3ページ目、月別、曜日別、時間帯別の利用実績について、です。

左下のグラフは月別実績です。月別では、8月までは利用が多く、特に7月は実証実験期間を含め最大の利用実績となりました。

一方で9月以降は減少しましたが、12月の利用実績は回復傾向にあります。

次に、真ん中のグラフの曜日別実績です。実証実験と変わらず、金・土曜日の利用が多い

状況となっています。水曜日の利用が少ないのは、ドライバーが稼働しても配車依頼がかからないことが多いこと、それによりドライバーの稼働が少なくなることも要因となっています。

次に右下のグラフ、時間帯別実績では、令和6年度とほぼ同じ傾向となっており、0時台の乗車が最も多い状況となっています。

次に、4ページ目、月別、曜日別、時間帯別のドライバーの稼働状況について、です。

月別では、7月までは昨年度並みの1日平均2台の稼働を確保できていましたが、8月以降は減少傾向にあります。

曜日別の稼働状況は、利用実績と同じく、金・土の稼働が多く、水曜日の稼働が少ない状況となっています。

また、時間帯別では19時台が最も少なく、20時台から稼働数が増加し、21時台以降は同等の稼働数を確保できています。

8月以降の稼働台数の状況等により、1月から新たなドライバー募集を開始いたしました。

この募集は、地区別での配車内容等を踏まえ、三崎地区を中心に活動いただける方かつ大臣認定講習が不要な普通二種免許保有者限定で募集をさせていただいております。

なお、問い合わせは1件ございましたが、現時点において正式申込みはありません。

次に5ページ目、マッチング率について、です。

令和7年度の12月までのマッチング率は82.0%となっており、ライドシェア運行開始前からは約20パーセント向上し、令和6年度との比較でも約2パーセント向上しライドシェアの運行により、タクシー不足問題は改善されている状況と判断できます。

次に6ページ目、試行運行の状況としましては、実証実験期間から通算しますと、運行は2,000回を超えましたが、タクシー会社と連携した安全対策により、事故やトラブルは発生していません。

また、アプリ配車のマッチング率は約20ポイント向上を維持できています。

このことから、神奈川版ライドシェアはタクシー不足問題に対して有効な手段であり、移動の足の確保のためには、ライドシェアの運行が必要であると考えています。

そのため、令和8年度についても同じ形態で試行運行を継続したいと考えています。

次に7ページ目です。

ライドシェアの試行運行を継続し、需要やタクシー会社の管理状況の把握、財源や運行日、また、タクシー会社を実施主体とした場合の採算性などの検証と並行し、地域の現状や三浦市民の移動ニーズについて調査・分析し、その結果と市内の公共交通を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、三浦市における公共交通の目指すべき方向性を示すため、令和8年度より地域公共交通計画の策定作業を開始し、令和9年度中の策定を目指します。

地域公共交通計画の策定にあたっては、ライドシェアやコミュニティバスの検討を含めた、市内の地域公共交通の望ましい姿を検討します。

以上を踏まえまして、令和8年4月以降についても、現在と同じ運行条件にて、市を実施主体とした運行を継続していきたいと考えています。

なお、付け加えますと、令和8年度の収支は、既にご寄附いただいた企業版ふるさと納税

を活用するものの、100万円程度のマイナスが生じる見込みです。

収支のマイナス分に対する市費の投入については、市議会を含め、様々ご意見をいただいているところですが、このマイナスに対しては、利用者増加策による利用料収入の増加と（可能な範囲で神奈川県さんにご協力をいただきながら）新たな企業版ふるさと納税のご寄附を募る取組みにより、市費を投入せずに、運行を行っていきけるようにしていきたいと考えております。

事務局からの説明は以上です。

大沢会長

➤ ただいまのご説明内容に関しまして、ご質問ご意見等あればお伺いしたいと思います。

WEB で参加の方もリアクション機能で手を挙げるとかでアクションを起こしていただければと思います。いかがでしょうか。

皆様がお考えの間、私の方からご質問させていただきます。

まず資料1の3ページ目を見ますと、7月に過去最高の利用となるなど、7月までは利用状況が良かったようですが、8月以降は減ってしまっています。前年度と比べて、特に11月においては、1/3程度になっていますが、夏以降に実績が減ってしまっている理由についてお教えてください。

事務局（小野政策グループリーダー）

➤ 夏以降に実績が減少している理由といたしましては、ドライバーの稼働数の減少が要因の一つとなっています。特に11月につきましては、メインでほぼ毎日のように入っていただいた方がお仕事の関係で入りづらくなったということもあり稼働数が減っております。もう一つの要因としては、タクシー会社の方にも伺いましたが、特に11月はタクシー会社も含めて利用状況は厳しい状況だったことが要因として考えられると思います。

大沢会長

➤ 分かりました。他に皆様いかがでしょうか。

三上委員

➤ 利用実績を増やすために様々な努力をされてこられたという認識を持っていますが、令和7年度と令和6年度で利用実績のデータをみてもほぼ変わりがないということですが、今後、増加させていくために、どのような取組をしていくのでしょうか。

事務局（小野政策グループリーダー）

➤ 今年度につきましては、商工会議所のセミナー等におきまして、ライドシェアの認知度向上のための説明等をさせていただくとともに、SNS等を活用し周知に励んできました。

今後につきましては、商工会議所にご協力をいただきながら、特に19時以降に開いている飲食店をリストアップし、ライドシェアの利用者向けに周知し、その店舗を利用していただ

いた方々にライドシェアを利用していただけるよう店舗含めて協力をいただきながら周知していきたいと考えています。こちらのリストにつきましては、商工会議所と協議中ではございますが、ホームページで公開の上、QRコードを名刺サイズのものに印刷し、観光イベントや宿泊施設にお配りしたいと考えております。

三上委員

- 回答ありがとうございます。利用実績の増加に引き続き取り組んでいただければと思います。

大沢会長

- 広報活動についても引き続きお願いいたします。先ほど三上委員からは需要を増やすという話がありましたが、今度は供給側、需要が増えても供給側であるドライバーがいなければ大変なことになってしまうと思いますが、ドライバーの確保については、何か取り組まれるのかお教えてください。

事務局（鷺阪課長）

- ドライバーの確保につきましては、先ほど説明をさせていただいたとおり、現在条件を絞った形での募集をかけているところですが、なかなか人が集まっていないという状況でございます。

ただ、三崎地区でドライバーが足りないという状況の認識には変わりございませんので、今の募集条件を見直すかどうかについては改めて検討する必要がありますが、三崎地区で主に活動いただけるドライバーを確保していきたいと考えております。

大沢会長

- ありがとうございます。他、皆様いかがでしょうか。なければ、ここで質問は一旦終わりにしたいと思います。そうしましたら、議題（1）について、お諮りいたします。神奈川版ライドシェアの令和8年4月以降の運行について、現在の運行条件と同様で、運行を継続することについて、ご異議ございませんでしょうか。

<異議なし>

異議がないということでよろしいでしょうか。

そうしましたら異議なしということで議題1については了承されました。この決定に基づいて、事務局で手続きを行いますようお願いいたします。

続きまして、議題2その他につきまして、事務局より何かございますか。

事務局（鷺阪課長）

- ご承認いただき、ありがとうございます。本日のご意見等も踏まえて、必要な見直しも

図りながら、安心安全に運行を継続してまいりたいと思います。よろしくお願いたします。

事務局より、その他について2点ほど説明させていただきます。

1点目は、先ほど、ご説明いたしました、地域公共交通計画策定に関してです。地域公共交通計画の策定にあたりましては、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づき、法定協議会を設置し、計画の策定及び実施に関して議論を行っていきたいと考えています。現在、法定協議会の設置に向け、準備を進めておりますが、他市事例等も参考に、現時点では、これまで道路運送法の規定に基づき開催してきました三浦市地域公共交通会議に、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の規定に基づいた役割を追加したうえで、地域公共交通計画策定に関する協議のための法定協議会を開催したいと考えております。法定協議会の開催は4月、5月頃で年2回から3回と考えていますが、詳細が決まり次第改めてご案内等させていただきますので、引き続きご協力のほど、お願いたします。

2点目は、本日の会議の議事録についてです。本日の議事録につきましては、委員の皆様にご確認いただき調整し、その後三浦市のホームページに公開しますのでよろしくお願いたします。

大沢会長

- ありがとうございます。ただいま事務局より、資料1の説明で一部あった来年度以降、地域公共交通計画について策定していきたいというお話の中で、組織のあり方、それから計画策定の委員会の時期の話がございました。2点目は本日の議事録確認の話がございました。特に1点目につきまして、何かご質問等ございますでしょうか。

廣野委員

- 要綱があったと思いますが、例えば道路管理者等はこれから委員に追加していくような形を考えているのでしょうか。

事務局（鷺阪課長）

- 他市事例の研究を進め、参考にし、神奈川県にもご助言をいただきながら要綱の方は整理させていただきたいと考えています。

廣野委員

- 必要があれば、神奈川県からも他の状況について情報を提供できると思いますのでご相談ください。

大沢会長

- ありがとうございます。私も廣野委員と同じ意識を持っており、例えば鉄道事業者はどうするかなど、地域公共交通計画となったら、三浦市の公共交通を担う多くの方にご参加いただくことになると思いますので、今の組織体制ではなく、鉄道事業者や道路管理者など色々出てくると思いますのでその辺もぜひ入れていただき議論すると同時に、このライドシェ

アの会議は、今度は部会みたいになるのかななどの組織体制についても、神奈川県にご相談いただきながらご検討いただければと思います。

他にご質問はよろしいでしょうか。皆様ありがとうございました。皆様にご承認いただきまして、引き続き来年度以降もライドシェアを運行することとなりました。

今後、議会等への手続きがあると聞いておりますが、ぜひ丁寧にご説明いただいて、ご了解について賜ればと思います。また、あわせて次年度以降に公共交通計画の策定についての話がございました。過去にこの会議でも、他の交通はどうするか、この時間帯だけでなく他の時間帯にもやった方がいいのではないか、等のご意見はいただいているところでございます。そういったところについても、今後議論できることとなりますので、引き続き皆様のご協力を賜ればと思います。

それでは以上で本日の議題を終了したいと思いますので、進行を事務局にお返しします。

事務局（鷺阪課長）

- 大沢会長、ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして、令和7年度第1回地域公共交通会議を終了いたします。本日は皆様ご出席いただき、誠にありがとうございました。